

協働パイロット事業(H20)企画提案書

(様式2)

1. 事業の名称

団体名：静岡・海辺づくりの会

「自然が蘇る海辺、次代に残そう美しい静岡海岸」

2. 事業方針

静岡海岸の海辺や隣接の防風林、自転車道、国道150号沿いには、ゴミや放置車両などが所々に散乱し、観光・文化都市を目指す静岡市の表海岸としては、あまり思わしくない状況にあります。このため地域住民や海岸を訪れる市民からは、それらのゴミや放置車両、雑草などを除去し、きれいな景観や自然環境を求める声が多く出ています。

一方、安倍川河口の中島、西島、下島、高松方面にかけての海辺は、美しい砂浜が回復し、その広がってきた砂浜を追うようにして海浜植物が芽吹き、静かに自然が蘇ってきました。

私たちは、静岡海岸のこうした現状を踏まえて、安倍川河口から大谷川放水路までの約3,4kmにわたる海岸の自然環境や海辺の利用について、町内会・利用者、海岸・道路の管理者(県・市)と一体となり、協働・連携して次代に残る“美しい自然”と“人々の集まる”海辺づくりを目指そうと活動しています。今回、こうした事業活動をさらに深く啓発するため、総合案内パンフレットの制作や清掃活動、植物観察会の事業を実施することをご提案するものであります。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割

私たちは、あくまで静岡海岸や道路等の管理者(県・市)では、手が届き難い部分の活動を中心に、海岸に隣接する町内会や海辺の利用者と一体となった事業活動をします。

総合案内パンフレットを近隣町内会や公共施設等に配布し、静岡海岸の現状をアピールするとともに、清掃活動・植物観察会の事業では自ら率先して海岸に隣接する町内会や行政に参加を呼びかけ「協働の輪」を広げるなど“パイプ役”としての役割を果たします。

4. 成果目標

静岡海岸の自然や海浜植物、回復する砂浜の現状などを紹介した総合案内パンフレットの制作・配布や清掃活動、植物観察会の事業活動を通して、地域住民や一般市民に広く啓発を行い、美しい自然景観や海辺の環境保全に貢献することを目標とします。

団体名：静岡・海辺づくりの会

5. 事業計画

★総合案内パンフレット「自然が蘇る海辺、次代に残そう美しい静岡海岸」の制作
静岡海岸の海辺に生育する海浜植物を主体に、安倍川河口や防風林内に生息する野鳥、回復してきた砂浜の現状や今後の状況などを紹介したものを考えています。
昨年5月に作成した植物観察会報告書（春編・秋編）「大浜海岸に蘇る海浜植物」（別紙添付）などを参考資料にして作成する予定です。

★清掃活動・植物観察会事業
年3回の清掃活動、同じく年3回の植物観察会・野鳥観察会の開催に伴い、案内チラシ、資料等の作成を行い、会員や近隣町内会、公共機関などの広報場所に配布します。

6. スケジュール

★総合案内パンフレット「自然が蘇る海辺、次代に残そう美しい静岡海岸」の制作
・制作期間 平成20年7月～12月

★清掃活動・植物観察会事業

・第1回清掃活動	5月18日(日)	・海浜植物観察会	5月10日(土)
・第2回清掃活動	7月6日(日)	・植物観察会	10月25日(土)
・第3回清掃活動	10月19日(日)	・野鳥観察会	21年1月(予定)

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

今回の事業実施に当たっては、会長、事務局長、自然再生部長、環境美化部長、環境整備部長の関係スタッフが中心となり、会の組織力と地元自治会との密接な協働・連携プレーにより、各スタッフが持つ経験や能力を活かしながら実施したいと考えています。

☆会長 長 岩崎 謙四郎 (駿河区自治会連合会長などを務め、自治会役員として16年間の豊富な経験を活かす)

☆事務局長 古郡 信介 (建通新聞社編集部長、東京支局長など専門紙記者として38年間の経験を活かす)

☆自然再生部長 久保井有代 (主婦。海浜植物など植物に詳しい知識と行動力に富む)

☆環境美化部長 宮田 優治 (業者団体の役員として豊富な専門知識と指導力を持つ)

☆環境整備部長 大石 雅子 (不動産会社の代表者。地域の環境整備などに独自のアイデアを持つ)

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

私たちは、静岡海岸という共有空間を活動の場として、単に清掃活動だけにとどまらず、環境整備、自然再生、レクリエーション、防災など幅広い分野に関わる活動の中から課題や提案を行っています。また、会の持ち味を活かし地元自治会との協働・連携プレーにより、その解決策について行政当局や海辺の利用者と一緒に考え・行動し、これからの時代にかなう美しい海岸・海辺づくりを行っています。

昨年、実施した事業活動は地域住民・海岸利用者・行政と協働で行った清掃活動3回、海浜植物の観察会・保全活動3回、会の活動を紹介した「協働ギャラリ―」開設のほか、小嶋善吉静岡市長や松村有二県静岡土木事務所長など海岸や道路等の管理者を訪問して、事業活動に対する協力要請や会の存在感をアピールしました。

今年度は通常の清掃活動や海浜植物観察会のほか、静岡市の関係当局と静岡市海浜交流センター（複合施設）の建設推進研究会を発足させること、大浜ビーチフェスタ2008（浜ゆき）などの大規模イベントを新たに計画しています。

(様式3)

協働パイロット事業(H20)見積書

団体名： 静岡海辺づくりの会

企画のタイトル：「自然が蘇る海辺、次代に残そう美しい静岡海岸」

項目	金額	説明
★総合案内パンフレットの制作	180,000	A4版4ページ オールカラー 600部 編集、デザイン料、写真、制作、印刷、 消耗品等の直接経費含む <600部の内訳> 会員 100部、近隣町内会 100部、公共 施設等 200部、予備 200部
★清掃活動・植物観察会事業	50,000	・清掃活動 20,000円、チラシ印刷A4 判 900枚、消耗品等含む ・植物観察会・野鳥観察会 30,000円、 講師謝金 チラシ印刷A4版 900枚、 資料代等含む
★事務管理費	8,095	
小計 A	238,095	
消費税 B=A×0.05	11,905	
合計 A+B	250,000	

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途

企画提案の概要書

(様式4)

提案団体名	静岡・海辺づくりの会
企画案のタイトル	「自然が蘇る海辺、次代に残そう美しい静岡海岸」
提案の要旨	<p>私たちの活動は、静岡海岸の清掃、環境整備、自然再生、レクリエーション、防災など5つの分野にまたがっています。人々との新しいつながりを生みだす海辺を“里浜”と称し、「次代に誇れる美しい自然」と「訪れる人々の心に残る」海辺づくりを目指し活動しています。</p> <p>私たちが会の特徴を挙げますと、地域町内会のリーダーや活動に対し同じ思いを持つ協力者の集団「環境市民活動団体」であること、いわゆる地域の人たちと密接なつながりを持って活動していることが最大の強みであると認識しています。また行政や企業ではできない仕事や事業を代行し、さらに地域住民や一般市民の協力・理解を得ながら広く地道に活動を行っていくことだと考えています。</p> <p>しかし、どうしても私たちのボランティア活動だけではおのずと限界があり、行政や企業の支援が不可欠の状態です。</p> <p>今回こうした背景をもとに総合案内パンフレットや清掃活動、植物観察会などの事業活動を通じて、「美しい静岡海岸」の実現や啓発活動に少しでも役立てば幸いです。</p>
金額	250,000 円